向陽新聞
発行所
高知市春野町97
土佐高等学校新聞部
編集人　秦　洋一
発行人　吉川　順三
印刷　高知印刷

高橋寫真館
高知市南播磨屋町
電話三一五八番

図書館ついに完成

生徒会から学校へ　図書費は五円増額

図書館運営

清水建設の手で昨年八月末着工された図書館兼理科実験室はいよいよ先月末にやっと完成した。千八百名の図書室としてはあまりに貧弱であった本校図書館はこれで百八十人の収容能力をそなえた全国有数のものとなったわけである。しかし蔵書は依然として三千冊、学校側は徐々に増やしていく方針というから早急の内容充実は望めないもようである。

この図書館は昨年度の生徒会の要望書に含まれていたもので、文部省から六百万円を借り受け、総工費千二百万円の予定で、昨年八月末に着工、途中鉄材の値上りにより父兄から九十万円の寄附を受け、また予定していなかった金網等の設置で結局千四百万円をかけ一月末に完成した。建坪は一、二、三階をあわせて延七百二十坪、一階、二階は映写用スクリーンとガス設備を備えた、理科四教室と準備室が二室。屋上はバレーコートをつくる予定だったが資金の関係で出来ていない。

図書室の方は開架式で前と同じで図書室は本を読むだけでなく、絶好のスタディング・ルームとなるわけ、収容人員は一五〇乃至一八〇名である。また蛍光燈十八基をそなえてあるので〝昼よりも明るい〟とは校長の自慢だが、くもりの日も明るい照明で読むことができる。ただしかんじんの蔵書はもとのままの三千冊、建物だけは全国有数だといっても、内容はいまのところ貧弱である。

学校側は年間五〇万円をかけ、三万冊をめざして徐々に増していく方針をとっているから充実するのはまだまださきのこと。とりあえず、今までの蔵書を安岡先生とアメリカで三年間図書館学を専攻した平林秦人先生が分類して新図書館にうつした。

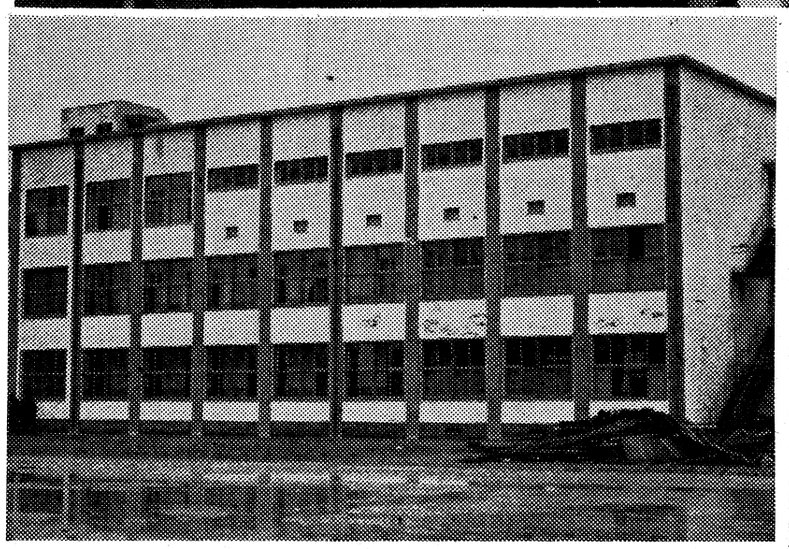
なお落成式祝賀会は金と時間の関係で二月中には行われない。

新図書館への移転にともない図書部員に任せてあった経営を、書物がかた寄るという理由で、学校側の管轄下におき次のような方法で経営をする。

一、生徒会の管理下におかず、学校管理とする。

二、図書費を従来より五円増し十五円とする。

三、十五円にすれば、年に三十万円位になる。それに後援会等より援助を受けると、総額五十万円位になる。その中つぎのように使用する。①十五万円は時事問題参考のための新聞、受験参考のための雑誌（例えば、改造時代など）の同種のものを五十冊購入に当てる。②金三十五万円を図書費にあて。四、二人位図書の先生を置き、常に整頓させる。



写真上は図書館内部で自習する中三生徒
下は三階建の図書館全景

絶対安全・アルコールランプ

―通産大臣賞を獲得―

連続受賞した山下先生

第五回全日本教職員発明展において、本校の山下芳男教諭は特賞六点中の通商産業大臣賞をみごとに獲得された。同教諭は昨年も特賞四点中の、発明協会会長賞（理科実験器を出品）も受賞している。

本年の作品は実験用のアルコールランプである。現在最も広く使用されているアルコールランプは、誤まって転倒すると、内部のアルコールがこぼれて点火。燃焼の危険があり、高温の時期（六月―十月）にはマッチで点火する時、引火爆発の危険をも伴うことがあるので、これを改良するためにいろいろと研究した。一昨年の修学旅行の引率中に、汽車の中でヒントを得て色々と図面を書き、余暇を見て改良し、私作に昨年の七月に成功をして、すぐに特許出願をしている。構造及び特徴は容器をポリエチレン製とし、危険防止と多量生産の可能な型として、じゅうらいのものよりも近代的な感覚になっている。

そのために従来のアルコールランプにない特徴を得た。即ち①従来の綿芯より焼けないから、半永久的に損耗しない。②炎色反応用熱源として使用できる。今迄の綿芯であると、燃焼の際、炎に原子状遊離炭素微粒子を生ずるために芯は赤味または黄味を帯び、炎色反応無色熱源としては不適当であったが、この芯体は七に二千度近くまで、焼成している不燃芯体であるから殆んど無限の芯を得ることが出来る。特に苦心したことは焼物の知識が少ないために、その作製であった。その道の大先輩であられる本校の中山教諭の奥さんに最初の指導を受け、県、工業試験所等でも色々と御世話になった。芯体の材料には色々の物を使用した。セメント、グラスウール、石綿、その他約五〇種の試作をしたがうまく行かずに何度も、もうやめようかと思ったが、それをおしきって遂にこのかがやかしい栄冠を得たのである。

新委員長に池添君

三學期の四役きまる

一月八日の第一回生徒委員会で、三学期四役が新たに改選された。昨年二学期役員の原前委員長は、任期が来たので、提出期限が来たあっ[illegible]た後なので、委員長選挙に推すものも、推されるものも事を期し、延々三時間を要した。まず、委員長には最初TSの文君が次点の板原（二K）谷（二T）池添（二T）君らをひきはなして最高点で当選したが、受験準備で忙しいのを理由に辞退し、さらに新委員長に対して不信任案が[illegible]れ、これが可決されたのでまた[illegible]ふりだしにもどって再選挙した。そして池添君と明神（一S）君とが決選投票にのこり、ついに16対15で池添君が委員長に就任した。次いで、副委員長には明神君、書記長には横田喜代恵（二K）さん、進行係には矢野（二T）君がそれぞれ就任した。

池添新委員長はその抱負を次のように新った。

新委員長談

前田さん二次試験にパス

留学生　決定は六月半ばに

第四回A・F・S（アメリカン・フィールド・サービス）奨学生第二次試験に本校の前田泰子さん（二T）がパスした。本県からは安芸高三名、土佐高一名の四名が受けたが、前田さんと安芸高の竹内君の二人が残った。だが、これは決定的なものでなく、第二次で日本全国から七〇名をとり、その書類をアメリカに送り、さらに約三十五名にけずられる。この発表は六月頃になる予定。もしそれにパスすれば、八月に渡米しアメリカン・フィルド・サービスに加入している米人家庭に一人一人家族の一員として迎えられ、約十ヵ月その地域のハイスクールに通学し翌年六月には帰国することになる。アメリカン・フィールド・サービスは第一次世界大戦末期にアメリカで組織された銃後の奉仕団で大戦後は、ヨーロッパの手弟をアメリカに留学させるなど、平和事業に力を入れていた。

授業料値上げ

教師のベースアップで

授業料がまたも値上げになるようである。

値上げの理由は本校教師のベースアップのためで、市内三私立校が申し合わせて、値上げをするようである。

百円の値上げにつき、教師一人について約三千円の給料が上がるといわれている。

今の高三が中一の時は六百十円五百円であった授業料は今では一千百円となっている。

中学生徒会改選る

女生徒わず二名

中学生徒会は去年の十七改選され、新たに会長に三A金川修一君、副会長に三Oの中岩、中二の田中君、D三中央委員名及び生徒議員がえらばれた。

内容は女子が三名といゆ[illegible]しさである。やはり男女共学の精神からいっても、せめて三十名の議員中三分の一くらいはいりたいという声がある。

議事の進行は[illegible]れないかまだまずい点もあるが、議案決める企画委員を新たに設置し中学生徒会の向上に努力をしている。

新館に写真部暗室

写真部では、今までブラバンド部と同じ室をしきったさい室を暗室兼部室にして水道ない不自由なものであったが、度新館の屋上の出口のところに近くらいの可愛らしい水道もちゃんとついた立派な暗室ができた。

本校写真部は高二の山[illegible]君が県展に入選するなど今まで[illegible]活躍をしてきたが、写真部で[illegible]派な暗室ができた上はいっそう切って力作をどんどん発表して校写真芸術の向上に役立ちたいと語っていた。

改善すべき旅行観念

主張

高二の修学旅行が本紙三十四号で取り上げられて問題となり、記事取扱いや表現に片手落ちや不備の点があったがそれによって本紙が意図したのは友人を個人的に非難するためでもなく、あえて校名を傷つけようとしたのでもない。今までの修学旅行に対する反省、即ち（一）修学旅行とは酒を飲んであばれることである。（二）修学旅行とは学生々活の制約を一時にほどき享楽にふけることである。（三）修学旅行とは一時的に外見を大人に似せることである。等々という悪い意味での習慣化された考え方を打ち破って学生として真の修学旅行をしてもらいたいということである。決して今の高二が特に悪かったというのではない。今までの修学旅行にもいろいろ悪い点があったのは確かである。

〝授業では得られない見聞を広める〟〝雄大な自然に接して学生としての鋭気を養う〟〝旅先でのエチケットを身につける〟などの美名のもとに、もちろん以上のような事も身につける事ができただろうが、それと同時に数多くの悪行を身につける修学旅行は厳に改めなければならないものである。

例年修学旅行で問題となるのは飲酒であるが、これは法律的な面からも、学生としての倫理、道徳的な面からも、団体行動中であり授業の延長である点からも絶対に譲まなくてはならないことは自明の理である。今回の修学旅行についていうと最も問題になるのは飲酒をした生徒達とそれを黙認した引率の先生の態度である。自から自分の立場を逸脱した生徒は名誉を重んじる本校生徒としてその良識が疑われる。引率の先生にしても修学旅行に出かけるにあたって各々信念を持っていかれたことと思われる。そしてその信念にもとずいた行動を取られたことと思う。しかし旅行の責任者であり、団体行動の引率者でもありながら自ら飲酒したのは大きな誤りであると思われる。すくなくとも軽率なふるまいであるだろう。

最も大きな問題は今後の修学旅行がどうなるかということである。

昭和二十九年度の卒業生が、高二の頃、発起人となり、委員会が主催者として発足した「卒業生を送る会」も今年で第五回を迎えた。この会は受験勉強や就職試験に追われている卒業生に、息抜きの日を与え、同じ学舎で学んだ卒業生を感謝の意をこめて送ろうという目的で作られた。

卒業生も在校生も毎年二月になると、この日を待ち望んでいる。今年は、十四日に行うことに決定され、連日、練習に余念のない組が多いって多い傾向を示している。

品位の落ちた予餞会

昨年は、十四日に行うことに決定され、連日、練習に余念のない組学生演劇の域を逸脱し、品位の堕落した作品を、舞台で演ずることは、上演したクラスや個人はもちろん、主催者である委員会にも責任がある。委員会では、従来、品位の堕落防止、全体の時間の把握、上演種目のスムースな運行をはかるため、シナリオ、所要時間及び責任者氏名を提出させることに議決しているが、前回はこれを提出したクラスがたった二クラスであったと聞く。今回も同様な方法で行っているが、提出しているクラスは少いようだ。

これによって演劇の内容も解り、従って品位の堕落した作品は委員会の手で、上演停止を行うこともできる。

とかく問題のあった時間の点では今迄、十一時頃迄かかっていたのが、今年は七時頃終るはこびとなり今回は問題ないことになった。さらに今迄は右に述べた三事項を提出しないクラスでも出演は認めていたが、これは裏に暴力的なおどしがひそんでいたことなどあり、不正なことが行われていた。しかし生徒の代表である委員会に、三事項を提出しないクラス（または団体、個人）の出場拒否権が認められて然るべきだと思う。

第二に問題になるのは、一般生徒の予餞会当日の態度である。二階から紙で作った飛行機やパンクズを投げたり、定められた時間まで居ることなしに帰ったりする者など、授業の延長とは思われない無軌道ぶりをみせる。予餞会を休日か祭日とまちがえ行動している者もいる。

このような、事あるごとに浮ついた気持になる習癖の連続が今回の修学旅行のような不祥事を招いたと言われても致し方ないだろう。卒業生も在校生も本当に楽しい一日を過すよう、各々一人一人が自分の行動に注意したいものである。予餞会が終った後でも、そのままうやむやにしないで今年の反省と来年への課題を考えるべきである。

先輩訪問記 27

高知大學助教授

伊野部重一郎氏（五回生）

「さあ、どうぞどうぞ」と記者に椅子をすすめられる。眼鏡をかけた真面目そうでやさしそうな物腰の先輩です。

「土佐中時代はとても勉強が苦しかったですね。他の学校と違って運動会はおろか対抗試合も無く、勉強一色でしたからね。然しこういった教育は現在の私に大いにプラスになっていますね」ともう二昔前を懐しそうに憶いだされながら、さらに続けて語られた。

「土佐中は秀才をつくるための学校であったので団体訓練に欠けていて統率力に乏しかった。しかし土佐中ならでは見られないような良い点と言うと、〝個人的に自発的にやって人間をつくっていく〟という点でしたね」

「三根校長は『現代の社会制度は自分が進学するためには他人を押しのけていかなくては進めないような悪い制度である。然しこういう状態の中にあっても常に他人に勝っていくことのできる強い人間とならなくてはいけない』といつもこのように言って教育されていましたね、その当時の私達はこれを聞いて少し腹をたてたものですが、今考えなおしてみると成程もっともだと感心させられますね」

「前号の新聞では修学旅行の記事がだいぶ騒がれたようですね。僕はこういう事実が起った場合、それをそのまま紙上にのせて自分達の間で批判していくということはとても必要なことだと思います。そうしてこの事実が一般に知れ渡ったとしても、一般はこんなことは土佐高だけじゃあないということを充分理解してくれているでしょうからね。これに比べて昔は映画も見せないほどだったので酒、煙草などやるものは勿論一人もいませんでしたね。つまり軍隊的に上からおさえつけていたからでしょう」

先生の尊敬する人をお聞きしてみると「本職だからかもしれませんが、今まで世に出た人は皆好きですね。そのうちでも特に好きでまた尊敬しているという人は日本では聖徳太子が最澄、外国では音楽が好きだからバッハというところでしょうな」氏は音楽を聞く方に大変興味を持っておられるそうです。昔、有名な本校の大先輩平井康三郎氏にバイオリンをお習いしたそうです。「しかし平井君と違って天分のないものはやはり駄目ですね。すぐやめてしまいましたよ」

最後に本校生に望まれることは、本校に昔からある個人的で自発的であるとのことである。

オ坊チャン的だった土佐中

はどういう事実が起った場合、それをそのまま紙上にのせて自分達の間で批判していくということはとても必要なことだと思います。そうしてこの事実が一般に知れ渡ったとしても、一般はこんなことは土佐高だけじゃあないということを充分理解してくれているでしょうからね。これに比べて昔は映画も見せないほどだったので酒、煙草などやるものは勿論一人もいませんでしたね。つまり軍隊的に上からおさえつけていたからでしょう」

先生の尊敬する人をお聞きしてみると「本職だからかもしれませんが、今まで世に出た人は皆好きですね。そのうちでも特に好きでまた尊敬しているという人は日本では聖徳太子が最澄、外国では音楽が好きだからバッハというところでしょうな」氏は音楽を聞く方に大変興味を持っておられるそうです。昔、有名な本校の大先輩平井康三郎氏にバイオリンをお習いしたそうです。「しかし平井君と違って天分のないものはやはり駄目ですね。すぐやめてしまいましたよ」

最後に本校生に望まれることは、本校に昔からある個人的で自発的であるとのことである。

ひとこと

またたく間に冬休みも過ぎ去った第三学期の登校日、鉄筋コンクリート建の図書館、実験室となるモダンな建物を目にしたのは私達にとって大きな喜びであった。

どうした手違いか最初の予定が変り、一口三百円という寄付金を出すことになって、その設備の充実に役立たすことになったが、千七百人もの生徒の友になる本がわずか三千冊。一人あたり一・八冊たらずとはあまりにも貧弱である。

この冊数では、今までも狭く感じていた旧図書室の本棚を満たすにも足らず、上の方の段は、本棚の裏の壁が目につく始末であった。教科書だけにかたよらず、広く一般知識を求めるためにも図書をふやしてもらいたいものだ。

たとえば理科系統の本にしても教室で飛行機のことを習う。もっと知りたい。しかしその求めに応じるような本は一冊もない。ラジオのことを習う。しかしそれについてより深く調べさせてくれる本も見つからないといった具合である。

また私達の教養を深める文学小説などと、気のある本は少なくとも二組くらいは欲しいものだが有名な作品でも足りない巻があったりする。

その他事務室の机上にある新聞にしても、むしろ図書館に備えてもらいたいし、現在とっている新聞のほか、英字新聞、週刊、月刊の学習教養雑誌などもぜひ備えてもらいたいものである。

新図書館の活用を

現在行われている献本運動にしても、一人一冊すつでも持ち寄れば二千冊ちかくも増してたくさんな成果が挙がり、本当に私達の築いた図書館となるのだから進んで協力してもらいたい。

さて新しい図書館の書棚には多くの本がぎっしりならび、一大拡張が成っても、現在のような利用状況ではそれこそ何にもならない。前の図書室も昼休みにはいちおう満員になっていた本校の生徒数から考えると、図書を有効に利用しているのはごく一部のものにすぎなかったように思われる。

図書室にとじこもり勉強や読書の虫となるのを望むのではないが、雨の日や休み時間、たまにでも図書館に足を運ぶようになりたいもので、自習の時間クラス全員図書室に入るのもよいであろう。

私達は今度の新図書館完成を機会に、図書の内容を充実させ、学校での学びの場、教養を深める場として、誰のものでもない私達のものとして学校図書館を利用し愛していきたいものだ。

（T・K）

ハガキ

▼志賀直哉の作に「清兵衛とひょうたん」という短編がある。ごく短かいもので話の筋も単純である。清兵衛はじいさんのはげ頭をみて「よいひさごじゃ」としばらくの間うっとりとながめたりするほどひょうたんに凝っていた。▼その清兵衛がある婆さんから、ふるいたつほどよいひょうたんを手に入れた。夜は茶の間に胡座をかいて手入れをした。手入れがすむと酒を入れて手拭でまいてかんにしまって、それでコタツに入れてそして寝た。翌朝は起るとすぐかんを開けてみる。ひょうたんの肌はすっかり汗をかいている。彼はあかずそれをながめた。それからていねいに糸をかけて陽のあたる軒へ下げた。そして学校に出かけた。それほどひょうたんを愛したのである。▼そのひょうたんが手放せないで学校にまでもっていってみがきだす。とうとう修身の時間に先生にみつかり「とうていう将来見込みのない人間」といわれる。その教師は清兵衛の家にまでできて彼の母に注意する。そして帰ってきた父にさんざんなぐられ「とても将来みこみのない奴じゃ出て行け」とまでいわれ、そのうえ彼が日夜かさず手入れしてきた十数個のひょうたんは目の前で一つ一つわられる。▼十二才の少年がひょうたんにとるのは確か異常であり狂的でもある。学校にまで持っていってみがくのはなおさら良くない。がその良し悪しは別として若い情熱をうちこんでやっていることを大人達は二度までも「とうてい見こみのない人間」だといっている。▼最後は清兵衛が絵をかくことによって「将来とても見込がない」といった先生や玄能で彼のひょうたんを一つ一つ割った父親のことも忘れ、彼は猛烈に絵をかきだす。しかし父親はもうそろそろ彼の絵をかくことにも叱言をいいだしてきたと結ばれている。▼熱中のあまり常軌を失うようなことがあったら、もちろん大人の賢明な助言や忠告が必要であるが、青少年の純真な情熱を大切にして「とうてい将来みこみのない人間」などといわないで、思いやりの深い適切な処置を取ってほしいものである。（M・S）

予備校の講義が自宅で聞ける
申込受付中
科目　英語科・解析Ⅰ科・解析Ⅱ科・国語科の4科
内容　大学教授が出題し予備校講師が月2回添削指導予備校の英・数・国の『基本講座用 TEXT』とその講義解説誌『Seishu』（A5.P.80）を毎月送付　綜合受験雑誌『受験通信』（A5.P.72）を毎月送付予備校正修の定期試験に丁寧な解答・講評・成績表をつけあなたの実力判定の資料に毎回送付
特典　夏期予備校〻正修〻の講習に無料で参加できまた受験相談学科質問等にも予備校講師が応じます
正修 通信受験指導部
内容紹介
ハガキで請求
向陽新聞
でみたこと記
東京都千代田区神田駿河台2の3
正修英語学校
電話東京(29)2980～1　振替東京144069番

時計・レコード
ラジオ・電蓄・テレビ
株式会社 川村時計店
オビヤ町　TEL 748

心のこもった贈り物
パイロット万年筆
スーパー　¥1500より
金ペン付　¥800より
耐酸ペン付　¥250より
ペンシル　¥150より
帯屋町東宝西三軒
白亞堂
TEL2473

現像・焼付・引伸　6時間仕上
カメラはキタムラ
高知市堺町　TEL 860.3154

（古本は誠実で安い）井上を
古本売買
井上書店
高知市帯屋町中ノ橋
電話 三九二一

土佐名産
鰹節　節盗
削　酒　干
土佐一鰹節店
高知市帯屋町2丁目　TEL.1085

背廣・オーバ・學生服
仕たて、ぬいかえし
島本洋服店
高知市福井町八八三

かまぼこの
永野
本店　大橋通り
支店　ハリマヤ町

修学旅行 その後の問題

まず旅行の目標を確立

向陽新聞前号の「修学旅行は大さわぎ」という記事は若干の問題をおこしたようである。あの記事を載せた新聞部員は内は同学の友に対する友情を害し、外は母校の名誉を傷つけたとの非難もある。しかし新聞は遠慮会釈なく真実を報道するものであるから、あれが真実ならば文句は言えない。

私があの記事を見て驚いたのは修学旅行であのような大さわぎが行われたということではない。あのようなことが新聞ダネとなって記載されたことを意外に思ったのである。なぜかと言うと、あの記事はどこまで真実を伝えているかは別として、あれに類したことは従来の修学旅行にも往々あったと思われるから、別に珍しいことではなく、生徒間では当然のことと思われていたであろう。それが今回は特に新聞のタネとされて外部にまで公表されたのである。それはつまり生徒の間に修学旅行のあり方について強い批判が起り反省がなされて、もっと教育的に行うべきだとの意向が生じたものと察せられる。これは生徒の気風の大きな変化である。今や生徒は修学旅行に真に教育的な目標を求めている。今後生徒諸君は修学旅行の目的は何であるかを真剣に考えるであろう。学校もまたその目標を確立して生徒にこれを与えなければならない。目標さえ確立すれば附添いの教師がさほど骨折って監督をしなくても、生徒は自主的に立派な行動をとるであろう。高校生ともなればその能力は十分にあると私は信じたい。ついでに老婆心ながら新聞部の諸君につぎの二つを要望したい。その一つは「兄弟かきにせめけども、外そのあなどりをふせぐ」という言葉がある。外部に発表される新聞の記事は世間の人の誤解を招かないようその取あつかいにじゅうぶんの注意をはらうこと。もう一つは諸君はまだ成人に達していないのでその言論にじゅうぶんの責任を持ち得ない。終極の責任は親や教師が負わなければならない。それ故つねに師や先輩の指導を受けることを忘らないことである。河野伴香（本校教諸）

読者の意見

問題は修学旅行以前に

近頃の修学旅行は〝修愚〟旅行だそうな。これは誇張を好ジャーナリスチックな表現だとしても、そういう面がないとはいい切れないようである。例えば宿屋の灰皿や洋服かけを失敬して、それを汽車の中で堂々と見せ合っていた修学旅行団もあったというが、これを見た乗客はその修学旅行団を〝泥棒教室〟だとまで極言している。この人が、向陽新聞三十四号の修学旅行の記事を読んだら何というだろうか。恐らくは〝泥棒教室〟というかも知れない。

昨秋の修学旅行がこの記事の通りだったかどうか、私はもとより知らない。しかし〝旅情〟の味わい方が相当なものだったとは確かだったろう。だが、そのことのよしあしについて、世の道学者流の批判は、私はむしろ慎しむべきだと思う。土佐高生には土佐高生としての自覚が十分あると、私は信じているからである。

ところで向陽新聞のこの記事が校内にかなり反響を起したということだが、それはどういう意味なのか。この記事が、故意に真実を曲げ針小棒大に書かれたとすれば、向陽新聞部はその責任にこたえなければなるまい。が、そうでなくて、いわゆる〝お家の名誉大事〟式な考え方でこの記事をどうこういうのだとすれば、問題は修学旅行以前に属する。

インフルエンザ猛威をふるう

本県一帯にひろがった歴性インフルエンザは新学期にはいってますます猛威をふるい休校になった学校も多数あった。その余勢をかって本校でも日に日に多くの欠席者が出たが、一月二十一日を最高として、だんだんすくなくなった。なお普通の日は中学、高校あわせて四十人位であったが、最盛期の時は中、高で百四十人と約三倍になっている。

圧倒的な旅行改善の声

日程旅程にも考慮の余地

本紙前号の〝大騒ぎの修学旅行〟の記事は、修学旅行のあり方に一石を投げかけるとともにまた学校新聞がこのようなことをとりあげたこと自体にも関連して校内に大きなセンセーションを起した。特に飲酒は未成年者は法によって禁止されているにもかかわらず、修学旅行となるとその見解もまちまちである。そこでこのような問題を解決する一つの材料として校内、校外各方面からの意見を聞いてみた。

前号の本紙でとりあげた修学旅行問題は色々の面で校内に反響をよび、新聞部にも多くの意見がよせられたが、それらを要約すると、まず、飲酒の事実はあったが、ほんの一部であるということ、さらに引率教師（特に第一班）の監督が不行届きであったということがおもなものである。また、本紙があの問題をとりあげたことについては賛否両論があり必ずしも一様でないが、おのおのの立場から意見を聞いてみると。

校長　あれは君、よほど慎重を期する問題だよ。新聞部の諸君が真に学校を愛してくれたとは思えんね。あれが世間に及ぼす影響を考えてみたまえ。本校はあれほど腐敗してはいない。健全だ。不幸にして、ああいう事実があったということは認める。しかし、その扱いかたが問題だ。僕は新聞部に自由を与えてある。それをうまく使うことが学生の使命だ。今後はよく勉強してくれたまえ。

委員長談　僕は二班だったので、あのような事実は知らない。我々の班では騒いだけれどもあれ程ではなかった。私としては今度の旅行は大変よかったと思う。日程はもう少しゆっくりしてもらいたかった。学生の飲酒は絶対いけない。理由はもう分ってるじゃないか。えらそうな旅行の意義だって……僕はそんなこと考えたことないよ。

高二A君　僕は二班で新聞にのっていたほどのことは見かけなかった。なにしろ引率の先生は皆に反感をもたれる程ひきしめていた。先生の飲酒は旅館から出るのだし少々ならよいだろう。生徒はもちろんしては悪い。

高二B君　あの記事は一応外部の人々にも読まれるのだから新聞に書くべきではない。現に僕は通学の途中、他校生からひどいことをいわれた。他の真面目な生徒のことも考えてもらいたい。事実はみとめる。

高二Cさん　私達は事実を知りませんでした。あってもほんの一部でやってきた。新聞のことが事実だとは思えない。

引率教師　我々はベストを尽しました。学生の飲酒は絶対いけない。

生徒、教師の自覚が先決

時季的には一応成功

また、その事実のいかん、報道のいかんにかかわらず修学旅行を今後改善すべきだという声は圧倒的に多く全体の七一・五%に達した。本紙では二十九年度以後の旅行団を参考に、調査資料を総括して、その問題点をさぐってみた。

時期　高三の春行っていたのを昭和三十年度（現在の高三）から高二の秋行くことにした。これは、高三より精神年令が若く引率に容易であり、また受験勉強にさしつかえることがない。さらに春に行けばきたすことのほか秋は天候もよくて他の旅行団が少いため旅館のサービスもよい。などの事から時期の面ではいちおう問題点がないといえる。

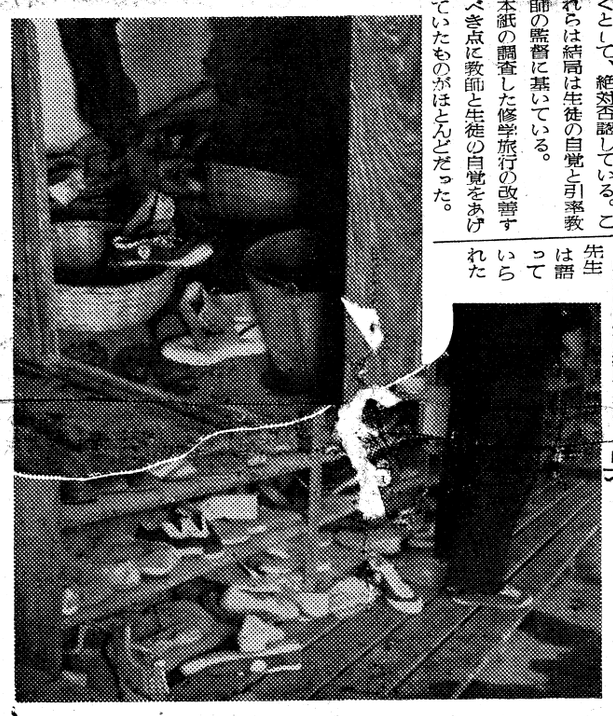
日程・コース　五泊（旅館宿泊）で九州一周は体力的に無理だという声が多い。また高校生の旅行としては期間が長すぎ、費用、その他の面でも毎年五、六十名の不参加者を出さなければならない状態にある。不参加者は午前中自習になっているが、どうしても緊張を欠き、ルーズになりやすいから、日程を短縮し、なるだけ全員が参加できるようにという意見もよく聞かれる。そのために、不必要な土地は除き見所のある所だけ見学する。たとえば北九州だけにとどめるというような意見も生徒間に相当多い。また旅行団をいくつかに分け各々違った日程コースをとることも考えられる。

態度　前号の本紙で飲酒の問題をとりあげてから、色々な反対意見が出されたが、その中にも、事実を絶対否定しているものはない。ずっとやってきたことだから今さらとりあげなくともというような声が意外に多い。しかし、大部分の生徒は飲酒は学生の本分にそむくとして、絶対否認している。これらは結局は生徒の自覚と引率教師の監督に基いている。本紙の調査した修学旅行の改善すべき点に教師と生徒の自覚をあげていたものがほとんどだった。

映写機を購入か

理科の先生：計画

本校に十六ミリ映写機を購入することが理科の先生の間で画されている。一月二十三日に校先生および少数の生徒を招い試写会を行ったが、購入費用は約三十万円とのこと。もし購入できればフィルムは県のフィルムライブラリーから借りうけ、今さばされている視聴覚教育の面にプラスするよう教室に講堂に活用したいと中山先生は語っていられた。



本校のうらまど

「仲良しワンワン」など

予餞会練習　最後のみがきに大童

「本校の裏窓できる。とくとごらん下され」てなツラをしてドッシリとかまえているこの風景？

四国一の講堂に続いて建設された鉄筋コンクリート三階建の校舎を見て、来る人々ごとに校長曰く「防衛大学に似とるだろう」実に立派な校舎である。しかしその廊にかくされた陽の当らぬ場所、カバーされた場所がこの名門土佐にも大いにあるわけだ（つまりそれが裏窓である）あきにくい扉をあけてびっくり玉手箱ならぬごらんの通りのあくた箱であったり、昇降口は乱雑な靴の広場であったり、「秀才学校が？」「女生徒がいるのに」と人は言う。

今日は靴が何足、スリッパが何足盗まれたとか、相次ぐ盗難事件などと騒いでいるが、あんがい靴などはこういうところにあり、こうしてなくなっていくのではないだろうか。

予餞会をまじかにひかえて各ホーム各部とも大いにはりきっており男女まじって五時―五時半ごろまでも音楽に合わせて踊っているの、こういうのがこのごろの放課後の風景である。

二K…前奏…突然横でレコード係の女子が「まだよ」の返事。「一旦千秋」の思いであろう。

体育部は今だに「ヤットッタッ」とばかり体育の猛練習。しかし、中には一方では体育を、また一方ではホームに帰って予餞会練習をといったかけもちもみられる。

旧理科室では二Sが映画「ジャイアンツ」の主題曲に合わせて「それもう一度」とかけ声をかけ合ってわが校舎もゆらぐばかり。

旧図書室に於てはガランとしただ広い室の隅に机を置いてレコードをかけての舞踊部の練習は「良寛さん」「舞踊劇」「陽気なモンキー」「ジプシー」ワンワン物語に影響されてか「仲良しワンワン」等、また舞踊部と並び称せられる主人公は音楽部、まず序曲はバイオリン合奏「セレナーデ」につづいて独唱「私の太陽」「かえれソレントへ」「からたちの花」チャーレスダンダーの「六つのエアバリエ」をバイオリン独奏でピアノ独奏はソナタ作品49、79に献本

その妹（武者小路実篤）
田舎教師（田山花袋）
大石良雄（野上弥生子）
阿部一族（森鷗外）
保健体育予想問題集（旺文社）
職業家庭予想問題集（旺文社）

東京支局写真だより

〝大学をめざす土佐高生〟

大学をめざして今年も多数の本校卒業生が、東京支局の本校の取材になる「大学をめざす土佐高生」と題する、写真速報を行います。上京の車中風景からはじまって名大学訪問、入試など受験生の諸表情をカメラでとらえて、校内の皆さまのお目にかけます。第一報は三月早々、新聞部々室前の掲示板へ展示。

女子就職者の集い誕生

このほど私達の先輩の「女子就職者の集い」という会が誕生した。昨年五月に町田先生が、二十八年度卒業生で相互銀行勤務の川崎さんに「女生徒同志集まってちょっと一会を持ってはどうか」と相談した。川崎さんはすぐ近くの農林中金の稽原さん、勧銀の百々さんと話し合って十月ごろから基礎を作り始めた。第一回会合は昨年十一月に開かれて、出席者は六十二名中、十八名であった。そして次会の役員として安田佳子（高知大丸）他七名を決めた。第二回会合は前回の欠席者や新卒生もあるので、三月下旬（春休み）に開く予定で、その時には会の名前も考えることに決まった。

大丸へ十六名

冬期アルバイト

本年度の冬休みのアルバイトは比較的好調で、前回までは各個人で申し込んでいたが、今回はそれとは別に学校から大丸へ三十名を申込み、その中男子十一名、女子五名、計十六名が採用された。

吹矢

▼…一月中旬、委員会での話。この日議題は予餞会の小委員決定であったが、この日、映画の観覧と重なって出席者はちらほら定員二十八名にほど遠いありさまで、決ったばかりの新顔役顔を暮くしてウロウロ。

▼…教室に遅くまで居残っている連中や、放送部、新聞部の口ぎき連を動員して首尾よく開会と相なったがこのため正規議員三分の二に対し、仮議員三分の一、こんな寄せあつめの委員会でもイインカイ？

ちょっと失礼

先生の巻　片岡敏

「やあやあ、ようこそ。遠来の珍客じゃが、あいにくうちは冬枯れで」と快く迎えてくれる先生のお宅は、山の音と川の音と一角にある。「ここで乗物を逃したら島流しじゃない、山流しだ」といわれるように補習の時などおそくても六時には家を出なければならない。そうすると自然「炊事軍曹は五時の起床になってしまうんだ」そうである。「ところで以前は西の方に森下先生や鎮西先生などがおられたから良かったが、今は断然東の方が優勢になってしもうて松木先生をはじめ町田、松尾、吉本（要）という先生がたが四人してたったヒットリのわしをよってたかっていじめらあね。特に吉本先生の如きは「西は交通は不便で文化の程度もお低い。おまけに食相であかぬけがせん。あっさりいってタコのようなもんじゃ」という。しかし口の悪いのにかけては、わしゃあ負けやせん。かえっていじめかえしちゃる」と言う先生の奥さんは東から帰り下ったとのこと。

〝朝鮮はいかがでしたか〟「そらあ面白かったネ、朝鮮と言うところは、何ともいえんくらい面白かった。わしは寒いことが鬼門で台湾と朝鮮とどっちにしようかとトランプ占いまでしてみたが台湾にはマラリアというヤマイがあるそうなから後の方にしたんだ。そこで生活改善をしようと零下二十五度というときでも首巻きもオーバーもせずにすんだよ」そして寒いことは健康によいと力をこめて論じたのち「そのため丈夫になってかえってみんなに迷惑をかけている」とホトホト感心すると「ボーナスも、俸給も生徒の信用も落ちるばかりでちっともあがらん、もう話も落ちた頃だぞ、この上はあの世（地獄のことらしい）へ落ちんように気をつけんといかんハッハッハ」「ところでこんどは真面目な話なんだがね。試験も近ずいたが、受験準備というと君達は単語をおぼえて、数学の問題をとくもんじゃと思うとるじゃろうが、朝寒いのをこらえて飛びおきで、堅いことに向うというところに何ともいえんよさがある。その苦痛が大きければ大きいほど合格の喜びもまた大きいんだ。授業にしても、知識だけをつけるなら家西に傾むき加茂の山は寒ば白んだ。帰りじたくを始め我々に最後の土産話というべ県外の学校で教壇に立ったとの失敗を話してくれた。授業正解のでるまで生徒を順々に立させたところ、半分以上がってしまって目ざわりでしょがないくなった。仕方なく「されば」と怒鳴ったが、先方は一向に通じない「いざりといいのになぜいざらんか」と同度もその「いざり」をくり返すうちについに生徒の一人が「いざるとはどういう意味でありますか」とたずねたずねて「ドキンときたがそこはそれここで負けては国語の教師の顔が立たないと、一生一代の知恵を働かせて「いざり」という名詞があるから活用さすと「いざら、いざり、いざる」となるその命令形だ、と断然たる微笑でむくいたという。（S・G）

写真は若かりし日の先生（右）と現在

「いざり」も活用する

捨てがたき水への郷愁

こないだも「片岡先生でさえ落っこちたのだから僕たちが落（第）ちるのは当り前ですよ」と〝さえ〟という接続詞のついたはがきまでが卒業生からくるおいに驚いた。それ以後一躍名をあげて酒を飲み さえすると「落ちなさんなよ」とひやかしならぬ忠告をされるそうである。

りだされた。介良の振興会の帰りのこと、先生の弁によると完全に酔は覚めていたそうであるが、「とにかく川の表面が光ることと電灯の火が目に直射した二つの理由で当然曲るべき道を曲らなかった。それで気がついたら川の中へ立っちょらあれ」水の無愛かくばかりかと記者連若おいに驚いた。それ以後一躍名落ちなさんなよ」とひやかしならぬ忠告をされるそうである

トピックス

ウマイ、ウマイ　ヘタ、ヘタ

平林先生と松尾先生による〝世界民謡を紹介する会、別名オンチ教室〟が毎土曜日放課後で行われている。第一回目は、"I am walking in the rain" 第二回目はラブソングで、"Red river valley" "ウマイ、ウマイ、"ヘタ、ヘタ"とまるで料理講習会のような掛け声のもとに "Come and sit by my side if you love me" とこの寒さにもかかわらず赤くホテッタ顔をした男女生徒約八〇名のバン声？をひびかせていた。

天下の土佐高教師

アチコチであくびの見られる六時間目。ひょっこりチリ箱の中から頭を出した可愛いネズミ君を生徒が発見、授業ソッチのけの大騒ぎ。たまりかねた先生「天下の土佐高生がたかがネズミ一匹にあそばれるとは何事か」或る生徒やおら立ちあがって、「天下の土佐高教師がたかが生徒にあそばれるとは何事か」

圖書部便り

最近の新刊購入案内

次郎物語（1―5）（下村湖人）
金閣寺（三島由起夫）
孤独の人（滝島泰輔）
メスとオス（岡田要）
ヘミングウエイ全集（堀内達衛）
広場の孤独（大宅壮一）
人生旅行（本田彰）
大学教授（モンゴメリー作・村岡花子訳）
アンの青春（岩本博民）
新鳥襄言志録
高浜虚子集

つづいてドボルザークの「ユーモレスク」パレクスキーの名作「メヌエット」等の豪華版である。

「いざり」も活用する

捨てがたき水への郷愁

こないだも「片岡先生でさえ落っこちたのだから僕たちが落（第）ちるのは当り前ですよ」と〝さえ〟という接続詞のついたはがきまでが卒業生からくるおいに驚いた。それ以後一躍名をあげて酒を飲み さえすると「落ちなさんなよ」とひやかしならぬ忠告をされるそうである

珊瑚製品ならびに装身具
池田珊瑚店
高知市帯屋町一丁目
電話358

新薬と調剤
はりまや薬局
高知市はりまや町交叉点南
電話2665

新刊書と雑誌
参考書 辞書類
明文堂
高知市堺町 電話295

土佐名産 カマボコ
多立石蒲鉾店
本店 京町 電話一七九
支店 南はりまや町 電話四一四八

中華そばなら 高知一
味のや
オビヤ町下詰
出前電話二三五〇

バーゲンセール！
豊富な御品を破格値でサービス
学生靴・旅行ケース・袋物・カバンなら
マエダ鞄店
オビヤ町 電話1290・3847

学生服は専門店で…
服専クーポン 高知クーポン 別あつらえ致します
学服組合 本町二電停北側 電2744番

土佐高中学校指定服
高知専門店会の店
京屋
高知市京町 電928

学生帽子は土佐高指定店
元田帽子店
高知市帯屋町2丁目 電2591

シヨール セーラー マフラ
元田洋品店
高知市帯屋町1丁目

MOTODA